

フルフィルメントジョブを設定

Note

このページでは、匿名化ルールやフルフィルメントに関連する一般設定を含むフルフィルメントジョブを構成する方法について説明します。

フルフィルメントに関するすべての主な文書ページへのリンクは、[フルフィルメント](#)をご覧ください。

フルフィルメントジョブを設定

フルフィルメントジョブを設定するのは、次のいずれかの役職でなければなりません。

- 一般システム管理者
- フルフィルメント管理者

[フルフィルメントジョブ設定]ページ ([\[設定メニュー\]](#)> [\[フルフィルメント\]](#)> [\[一般\]](#)> [\[フルフィルメントジョブ設定\]](#))で、一部のフルフィルメントジョブの一部を設定できます。このページで実行される設定は、機関レベルでのみ適用されます。

The screenshot displays the 'Fulfillment Jobs Configuration' interface. It lists several jobs with their respective settings:

- Borrowing Activity Report Job:** Status: Active (selected), Schedule: On the (DD) of every month at (TIME), Edit Scheduling, Run Now.
- Send Courtesy Notices and Handle Loan Renewals Job:** Status: Active (selected), Handle loans: Once when due date is within range, From: 2 days before due date, To: 0 days after due date, Allow Renewal for Rapidio Pids Requests, Schedule: Every day at 01:00, Edit Scheduling.
- Notify Automatic Renewals:** Status: Inactive (selected), Notify Automatic Renewals: [checked].
- Send Hold Shelf Reminders Job:** Status: Inactive (selected), Hold shelf reminder interval (days): 2, Send reminder: Once, Schedule: Not scheduled.
- Send Overdue Notices Job:** Status: Active (selected), Schedule: Every day at 04:00.
- Fines/Fees Notifications Job:** Status: Active (selected), Schedule: Not scheduled, Run Now.
- Accommodation Job:** Status: Inactive (selected), Schedule: Not scheduled, Run Now.

フルフィルメントジョブの設定ページ

これらのジョブの詳細については、[スケジュールされたジョブの表示](#)を参照してください。

スケジュールされたジョブが実行されない場合、欠落したレコードは次の実行のために選択されます。これは、延滞通知の送信を除くすべてのジョブに当てはまります。

各ジョブは、アクティブ化、非アクティブ化、またはスケジュールできます。追加：

- アクティビティレポートジョブの取寄せ - [ジョブの監視]ページに、「[通知 - 定期的なフルフィルメントアクティビティの送信](#)」ジョブとして表示されます。ジョブは、取寄せアクティビティレターを生成します。このページからすぐにジョブを実行できます。
- 臨時通知の送信と貸出更新の処理ジョブ - [通知 - 臨時通知の送信と貸出更新の処理](#)ジョブは、自動貸出更新ルール、利用規約、既存のリコールに応じて、次のいずれかを実行します。

期日までの日数フィールドに、貸出の期日前にリマインダー通知を送信する日数または貸出が自動的に更新される日数を入力します。

Note

これらの設定は、[\[設定メニュー\]](#)>[\[フルフィルメント\]](#)>[\[一般\]](#)>[\[その他の設定マッピングテーブル\]](#)ページでも設定できます。`auto_renew_loan_days_after_due_date`、`auto_renew_loan_days_before_due_date`、および `send_courtesy_notices_behavior` パラメータの値を変更できます ([その他の設定の構成](#)を参照)。

このジョブは、ジョブの前の実行後に作成され、その期日が期日までの日数パラメータで設定された日数よりも早い貸出で実行されます。

たとえば、

- 期日までの日数 = 7 の場合、ジョブは6月10日に実行されます。
- その後、期日までの日数 = 7 の場合、ジョブは6月11日に再び実行されます。

これにより、

- 期日が6月17日の貸出は6月10日のジョブに含まれ、期日が6月18日の貸出は6月11日のジョブに含まれます。
- 6月11日に貸出が作成され、6月17日に期日が来る場合、その貸出は6月11日のジョブでもカバーされます。これは、前日のジョブではカバーされなかったためです。

Note

将来、貸出中の資料が自動更新される場合、返却督促通知は送信されません。

-
- 自動貸出更新ルールの条件が満たされると、貸出は自動的に更新されます。

Note

これらは貸出時のアイテムの状態であり、現在のアイテムの状態ではありません。

-
- ユーザーまたはアイテムにブロックが存在し、アイテムの更新を妨げている場合 ([\[ブロック設定の構成\]](#)参照)、ジョブはユーザーにアイテムを返さなければならないことを伝える臨時通知を送信します。デフォルトでは、ユーザーごとに1つの通知が送信されます (以下で説明するとおり、[\[期日が指定日と完全に一致する場合\]](#)が選択されます)。[\[貸出の取り扱い\]](#)フィールドは次のように設定することができます。
 - 期日が指定日と完全に一致する場合— 期日のX日前、1回だけ臨時通知が送付されます、Xは[\[期日までの日数\]](#)で指定された日数です。この日付以降、貸出がジョブに含まれなくなるため、返却期限前にブロックが解除された場合 (例: 資料の予約がキャンセルされた場合)、追加の返却督促通知は送信されません。(この値は `send_courtesy_notices_behavior` パラメータの `DD_ON_EXACT_DEFINED_DAY` 値に対応します。詳細は [その他の設定の構成](#)を参照してください。)
例: 返却期限前日数パラメータが7日に設定されており、貸出資料に予約が入っているために貸出期間を延長できない場合、返却期限日の7日前にユーザーにリマインダーが送信されます。その後、追加の臨時通知は送信されません。さらに、何らかの理由で期限のちょうど7日前にジョブが実行されなかった場合、返却督促通知はまったく送られません。
 - 期日が指定日と完全に一致する場合は毎日— 期日のX日前より、毎日臨時通知が送付されます。Xは[\[期日までの日数\]](#)で指定された日数です。通知は期日に終了します。これらそれぞれの日に貸出がジョブに含まれるため、返却期限前にブロックが解除された場合、要件が満たされていれば自動更新が行われます。(この値

は、**send_courtesy_notices_behavior**パラメータのDD_WITHIN_RANGE_DAILY値に対応します。[その他の設定の構成](#)を参照してください)。

例:返却期限前日数パラメータが7日に設定されており、貸出資料に予約が入っているために貸出延長ができない場合、ユーザーに返却期限日の7日前からリマインダーが送信され、その後返却期限日まで毎日送信されます。

- 返却期限が範囲内にある場合 – 返却期限のX日前から返却期限当日までの期間に限り、返却督促通知は1回のみ送信され、返却期限当日に終了します。ここでのXは返却期限前日数で指定された日数です。返却期限を手動で変更した場合（手動で更新したり、返却期限を変更したりした場合）、通知ステータスはリセットされ、当該貸出に対して再度返却督促通知が送信されます。（この値は、**send_courtesy_notices_behavior**パラメータのDD_WITHIN_RANGE_ONCE値に対応します。詳細は[その他の設定の構成](#)を参照してください）。

例:返却期限前日数パラメータが7日に設定されており、貸出資料に予約が入っているために貸出延長ができない場合、返却期限日の7日前にユーザーにリマインダーが送信されます。この後、追加の臨時通知は送信されません。ただし、何らかの理由で期限のちょうど7日前にジョブが実行されなかった場合、ジョブの実行時に返却督促通知が送信されます（返却期限より前の場合）。

- 繰り返し通知なしで範囲内で毎日 – 期日のX日前、1回だけ儀礼的通知が送付されます。Xは【期日までの日数】で指定された日数です。ただし、この日付以降も、予定日後の日数に指定された期日のY日後までは、貸出がジョブに含まれます。したがって、指定範囲内でブロックが解除された場合（例：資料の予約がキャンセルされた）、条件を満たせば自動更新が行われます。ただし、追加の返却督促通知は送信されません（この値は**send_courtesy_notices_behavior**パラメータのDD_WITHIN_RANGE_SINGLE_NOTIFICATION値に対応します。詳細は[その他の設定の構成](#)を参照）。

例:返却期限前日数パラメータが7に設定され、返却期限後日数パラメータが3に設定され、かつ貸出資料に予約が入っているために貸出延長ができない場合、返却期限の7日前にユーザーにリマインダーが送信されます。この後、追加の臨時通知は送信されません。ただし、期日の3日前にブロックが解除された場合、ジョブは自動更新の実装を試みます。

- 自動貸出更新ルールの条件が満たされていない場合（したがって、貸出資料が更新されない場合） – アイテムの期限が来たことをユーザーに通知する返却期限通知を送信します。自動貸出更新ルールの設定の詳細については、[自動貸出更新ルールの設定](#)を参照してください。
- 自動更新の通知 - この機能を選択すると、自動貸出更新通知レターで、ユーザーに貸出更新を自動的に通知します（[Almaレターの設定](#)を参照）。
- 取置き棚リマインダージョブを送信する – アイテムが取置き棚に置かれた後に、取置きチェックのリマインダーをユーザーに送信します。取置き棚のリマインダー間隔（日）フィールドに、リマインダーを送信するアイテムが取置き棚に配置されてからの日数を入力します。リマインダーを間隔内に1回だけ送信する場合、または取り置きが期限切れになるまで繰り返し送信する場合は、【リマインダーの送信】ドロップダウンリストから選択します。[通知 - 取置き棚リマインダージョブの送信](#)を参照してください。
- 延滞通知送信ジョブ - [ジョブの監視]ページに[通知 - 期日通知の送信](#)ジョブとして表示されます。
- 罰金/手数料通知ジョブ - このページからすぐにジョブを実行できます。[罰金/手数料通知ジョブ](#)を参照してください。
- 匿名化ジョブ - [ジョブの監視]ページに[フルフィルメント - 履歴アーカイブの処理](#)として表示されます。設定情報については、以下の[匿名化の設定](#)を参照してください。
- 貸出 - 延滞および紛失貸出ジョブ - [ジョブの監視]ページに[貸出 - 延滞および紛失したアイテム](#)として表示されます。このジョブは、プロファイルの条件に一致するジョブの前の実行後に作成された貸出で実行されます。
- 貸出 - カレンダー変更後の期日修正 - [貸出 - カレンダー変更](#)ジョブ後の期日修正を参照してください。
- リクエスト - 有効期限ステップの処理 - [リクエスト - 有効期限ステップの処理](#)ジョブを参照してください。
- 期限切れの予約リクエストの処理 - [期限切れの予約リクエストの処理](#)ジョブを参照してください。

- リクエスト - 一時的に取り置き棚にあるアイテムの復元 - [リクエスト - 一時的に取り置き棚にあるアイテムの復元](#)ジョブを参照してください。
- リクエスト - 目録アップデート後の再計算 - [リクエスト - 目録アップデート後の再計算](#)ジョブを参照してください。
- リソースシェア取寄せパートナーへの延滞メッセージの送信 - [リソースシェア取寄せパートナーへの延滞メッセージの送信](#)ジョブを参照してください。
- 期限切れのリソースシェアリクエスト - [期限切れのリソースシェアリクエスト](#)ジョブを参照してください。
- ユーザー - ブロックの削除 - [ユーザー - ブロックの削除](#)ジョブを参照してください。
- コースの有効化/無効化 - [コースの有効化/無効化](#)ジョブを参照してください。
- リクエスト - リポート送信 - [リクエスト - リポート送信](#)ジョブを参照してください。含めるリクエストを選択できます。
 - 無効リクエスト
 - リクエスト処理中
 - 取り置き棚にあるリクエスト
- ユーザーへのLeganto通知のEメール送信 (Legantoのみ) - Legantoのドキュメントの[通知の設定](#)を参照してください。
- **BLDSS**リクエストのアップデート - このジョブをスケジュール済みジョブとしてアクティブ化または非アクティブ化するか、手動で実行できます。[アップデートBLDSSリクエスト](#)ジョブを参照してください。
- リソースシェアネットワーク設定の配分 (ネットワークゾーンのみ) - 警告の割合の閾値フィールドに整数を入力します。配分に失敗したレコードの割合がこの数値以下のままである場合、ジョブは警告を表示します。割合を超えると、ジョブは失敗します。[中央リソースシェア設定の配分](#)ジョブを参照してください。
- **DCS**同期 - [DCS 同期](#)ジョブを参照してください。
- リソースシェアの完了したリクエストのクリーンアップ - [リソースシェアの完了したリクエストのクリーンアップ](#)ジョブを参照してください。選択：
 - ILL (依頼) またはILL (受付)、あるいはその両方をクリーンアップするか。
 - リクエストをクリーンアップするまでの日数。
 - クリーニングするリクエストのステータス。
 - ジョブをスケジュールするか。
- リソース共有の請求とキャンセル - 関連するリソース共有リクエストの請求またはキャンセルのメッセージを送信します。[リソースシェアパートナー](#)のページで自動クレームフィールドと自動キャンセルフィールドに関する情報を参照してください。

これらのジョブでAlmaがユーザーに送るレターの詳細については、[Almaレターの設定](#)を参照してください。

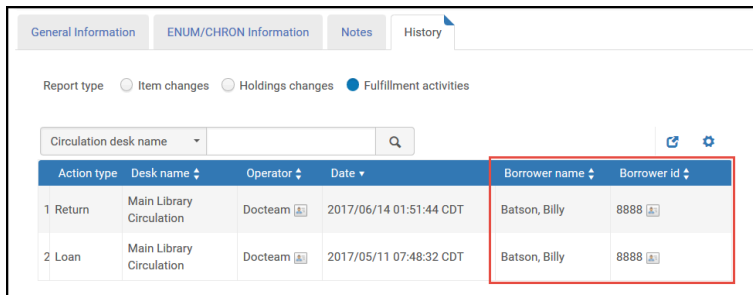
Note

- フルフィルメントジョブは、機関レベルでのみ設定できます。[設定]ページの[設定フィルタ](#)から必要な機関を選択します。
 - スケジュールの時間は、機関が所在するタイムゾーンによって異なります。
 - このページの一部のジョブには今すぐ実行オプションが表示されますが、他のジョブには表示されません。貸出 - 延滞および失った貸借ジョブなどの一部のジョブでは、オプションは他のページに表示されます。
-

匿名化の設定

匿名化により、運用上の目的で不要になった個人情報が **Alma** から削除されます。このセクションでは、貸出、罰金と料金、リクエスト、および資源共有のリクエストのタイプの取引に関連するトランザクションの匿名化について説明します。この匿名化は、フルフィルメント - 履歴のアーカイブジョブによって実行されます。また[ナレッジ記事](#)も参照してください。

例えば、ジョブが貸出の匿名化に設定されている場合、ジョブが実行されると、すべての貸し出されたアイテムのアイテム履歴から借り手の名前と借り手IDが削除されます。したがって、次のような場合、ジョブが実行される前に、借り手の名前と借り手IDが表示されます：

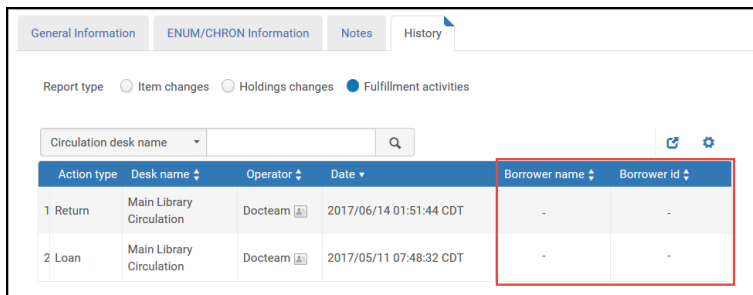


The screenshot shows the 'History' tab in Alma. The 'Report type' is set to 'Fulfillment activities'. The 'Circulation desk name' is 'Main Library Circulation'. The table below shows two rows of activity:

Action type	Desk name	Operator	Date	Borrower name	Borrower id
1 Return	Main Library Circulation	Docteam	2017/06/14 01:51:44 CDT	Batson, Billy	8888
2 Loan	Main Library Circulation	Docteam	2017/05/11 07:48:32 CDT	Batson, Billy	8888

貸出履歴

ジョブの実行後、借入人名と借入人IDは表示されません。



The screenshot shows the same 'History' tab as above, but after the anonymization job. The 'Borrower name' and 'Borrower id' columns are now redacted with dashes.

Action type	Desk name	Operator	Date	Borrower name	Borrower id
1 Return	Main Library Circulation	Docteam	2017/06/14 01:51:44 CDT	-	-
2 Loan	Main Library Circulation	Docteam	2017/05/11 07:48:32 CDT	-	-

匿名化後の貸出履歴

Almaアナリティックスで匿名化を行うには、最初に[過去のアーカイブの取り扱い]ジョブを実行してからETLを実行する必要があります。匿名化後、アナリティックスにはユーザーの詳細については、表示されません。ただし、次の情報が表示されます。

- [ユーザーの詳細]> [ユーザーグループ] (Almaではユーザーグループと呼ばれる)
- [ユーザーの詳細]> [ユーザーのジョブタイトル] (Almaではジョブカテゴリと呼ばれる)
- [ユーザーの詳細]> [レコードタイプ] (パブリック、スタッフ、またはコンタクト)
- ユーザーの詳細> アカウントのタイプ (内部または外部)



The screenshot shows a table of user data in Alma Analytics. The 'User Id', 'User Name', and 'User Group' columns are highlighted with a red box.

Barcode	Date Key	User Id	User Name	User Group	First Name	Last Name	Patron Group	Patron Id	Patron Job Title	Patron Record Type	Patron Type
11719013765964	6/27/2014	-1	None				staff member, library	-1	GeneralAdministrator	Staff	Internal

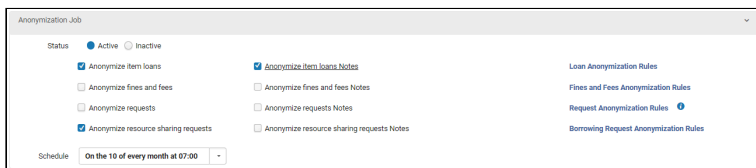
匿名化後のアナリティックス

Note

- 匿名化に関する質問と回答については、[データプライバシーに関するよくある質問](#)を参照してください。
- 匿名化の詳細については、[Almaでの匿名化とAlmaアナリティクスへの影響](#)を参照してください。
- 非取引の匿名化については、[匿名化アナリティクスレポートの詳細](#)を参照してください。

トランザクションの匿名化の設定は、フルフィルメントジョブ構成ページ（[設定メニュー](#) > [フルフィルメント](#) > [一般](#) > [フルフィルメントジョブ構成](#)）の匿名化ジョブセクションで行われ、次の手順を含みます：

- 匿名化するデータの種類の選択
- 必要に応じて、ジョブを自動的に実行するようにスケジュールする
- このジョブによって匿名化されるレコードを制御するルールの設定



匿名化ジョブのセクション [フルフィルメントジョブ設定ページ](#)

should_anonymize_requests_immediately_when_complete 顧客パラメーター（[フルフィルメントのその他の設定](#)を参照）が真（true）に設定されている場合、リクエストは完了次第すぐに匿名化され、ここで定義された匿名化ルールは無視されます。このパラメーターは、[設定メニュー](#) > [フルフィルメント](#) > [一般](#) > [その他の設定](#)で設定できます。このパラメータは、フルフィルメントリクエストにのみ適用されることに注意してください。リソース共有リクエストはこの影響を受けず、リソース共有リクエストの匿名化ジョブによって匿名化されます（[匿名化ルール](#)の設定を参照）。

should_anonymize_requests_immediately_when_complete カスタマーパラメーターをtrueに設定、および/または匿名化ジョブを使用すると、データベースから大量のデータが削除される可能性があります。これを選択する前に、この設定の意味をしっかりと理解しておいてください。

匿名化するデータの種類の選択

匿名化ジョブによって匿名化されるデータの種類の選択できます。選択肢には、アイテム貸出、罰金と料金、リクエスト、および/または資源共有リクエストがあります。

匿名化されているレコードに含まれるメモを削除するかどうかを選択することもできます。ただし、最初にそのレコードタイプを匿名化することを選択しない限り、そのレコードタイプのメモを匿名化することはできません。例えば、アイテム貸出を匿名化を最初に選択しないと、アイテム貸出のノートを匿名化するを選択できません。

匿名化ジョブによって匿名化されるデータの種類の選?するには、次の手順を実行します。

- アイテム貸出の匿名化を選択して、完了した貸出のユーザー情報を削除できるようにします。未払いの罰金または手数料のある貸出は匿名化できないことに注意してください。アイテム貸出レコードに添付された ノートを匿名化する場合は、アイテム貸出のノートを匿名化するを選択してください。
- クローズされた罰金/料金のユーザー情報を削除するには、罰金と料金を匿名化するを選択してください。罰金と料金のレコードに添付された ノートを匿名化する場合は、罰金と料金を匿名化するを選択し、罰金と料金のノートを匿名化するを選択してください。

- 完了および削除されたリクエストのユーザー情報を削除するには、匿名化リクエストを選択してください。リクエストレコードに添付された ノート を匿名化する場合は、匿名化リクエストを選択し、リクエストの ノート を匿名化するを選択してください。
- 完了および削除されたリソース共有リクエストのユーザー情報を削除するには、リソース共有リクエストを匿名化を選択してください。リソース共有リクエストレコードに添付された ノート を匿名化する場合は、リソース共有リクエストを匿名化するを選択し、リソース共有リクエストのノート を匿名化するを選択してください。
 - 貸出依頼の場合：匿名化ジョブは完了および削除された取寄せリクエストで全てのユーザー情報を削除します。
 - 貸出リクエストについて：匿名化ジョブは、完了済および削除済の貸出リクエストに含まれるユーザー情報を削除します。貸出先機関の設定によっては、当該情報が貸出リクエストの備考欄に含まれる場合があります。

Note

[リソース共有リクエストを匿名化する]を選択すると、ILL（受付）とILL（依頼）の両方を匿名化します。しかし**ILL（依頼）**の匿名化ルールが構成されている場合、ILL（依頼）のみに適用されます。ILL（受付）の匿名化は設定できません。

匿名化ルールの設定

匿名化ジョブが実行されるときに、匿名化の対象となるレコードが選択される 基準を設定できます。

匿名化ルールを設定するには：

- それぞれの匿名化オプションの横にはルールリンクが貼られています。例えば、匿名化 資料の貸出オプションの横には、貸出匿名化ルールのリンクが表示されています。
- 関連するルールのリンクを選択します。

The screenshot shows the 'Loan Anonymization Rule Editor' interface. At the top, there are 'Cancel' and 'Save' buttons. Below is a form with the following sections:

- Loan Anonymization Rule Editor** (dropdown menu)
- Name *** (text input field)
- Description** (text input field)
- Created By**: Ex Libris
- Created On**: 2017/06/14
- Updated By**: Ex Libris
- Updated On**: 2017/06/14
- Input Parameters** (dropdown menu)
- Add Parameter** (button)
- No records were found.** (message)
- Output Parameters** (dropdown menu)
- Anonymize Loan ***: False (dropdown menu)

貸出匿名化ルールエディタ

- 新しいルールを追加するか、既存のルールを編集します。
- 入力パラメータは次の通りです：

Note

の匿名化ルールの入力パラメータにはそして関係（ルールを適用するには、すべてのパラメータの基準を満たす必要があります）。

ルール種別	パラメータ	オペレータ	説明
貸出	貸出終了からの日数	<、>、=、等しくない	整数がカウントされます。そのため、貸出が1日を超えて終了し、昨日貸出が終了した場合、貸出は匿名化されません。
	ユーザー期限からの日数	<、>、=、等しくない	整数がカウントされます。そのため、ユーザーの有効期限からの日数が1を超え、昨日ユーザーの有効期限が切れた場合、貸出は匿名化されません。
	図書館	=、リスト内、空、空ではない、等しくない、リストにない、含む	
	配架場所	=、リスト内、空、空ではない、等しくない、リストにない、含む	図書館入力が追加された場合、選択された図書館に従ってロケーション・リストが取り込まれます。 図書館入力が追加されていない場合、リストは空です。
	保持する貸出の数	=	たとえば、保持する貸出の数 = 3でルールが設定され、アイテムに3つの貸出履歴レコードがある場合、それらは匿名化されません。アイテムに4つの貸出履歴レコードがある場合、最も古いもののみが匿名化されます。
	ユーザーグループ	=、リスト内、空、空ではない、等しくない、リストにない、含む	貸出の開始時にユーザーが属していたグループ。
罰金および手数料	罰金または手数料が経過してからの日数	<、>、=、等しくない	
	ユーザー期限からの日数	<、>、=、等しくない	
	図書館	=、リスト内、空、空ではない、等しくない、リストにない、含む	
	ユーザーグループ	=、リスト内、等しくない、リストにない	罰金/手数料が発生したときにユーザーが属していたグループ。
リクエスト匿名化ルール	リクエストが終了してからの日数	<、>、=、等しくない	整数がカウントされます。したがって、リクエストが終了してからの日数が1を超えており、リクエストが昨日終了した場合、リクエストは匿名化されません。

ルール種別	パラメータ	オペレータ	説明
	ユーザー期限からの日数	<、>、=、等しくない	整数がカウントされます。したがって、ユーザーの有効期限からの日数が1を超えており、ユーザーの有効期限が昨日切れた場合、リクエストは匿名化されません。
	図書館	=、リスト内、空、空ではない、等しくない、リストにない、含む	
	配架場所	=、リスト内、空、空ではない、等しくない、リストにない、含む	図書館入力が増加された場合、選択された図書館に従ってロケーション・リストが取り込まれます。 図書館入力が増加されていない場合、リストは空です。
	ユーザーグループ	=、リスト内、等しくない、リストにない	リクエストが作成されたときにユーザーが属していたグループ。
貸出リクエストの匿名化ルール	貸出依頼が終了してからの日数	<、>、=、等しくない	
	ユーザー期限からの日数	<、>、=、等しくない	
	図書館	=、リスト内、空、空ではない、等しくない、リストにない、含む	
	ユーザーグループ	=、リスト内、等しくない、リストにない	取寄せリクエストが作成されたときにユーザーが属していたグループ。

Note

リクエストが実行された際、使用可能なアイテムが複数あり、リクエストが特定のアイテムに添付されている場合（たとえば、アイテムレベルのリクエストまたはアイテムがすでにリクエストを実行している場合）、アイテムの **図書館** と **場所** が使用されます。それでもリクエストが複数のアイテムで満たされる場合、**図書館** と **場所** はリクエストを満たすために優先的に自動的に選択される **所蔵品** から取得されます。

- 出力パラメータ **匿名化** に対して **真** または **偽** を選択します。
- 保存** を選択します。

デフォルトでは、貸出匿名化ルールは **偽** に設定されています。選択した貸出タイプを匿名化しない場合は、ルールを **偽** に設定する必要があります。

その他の設定（フルフィルメント）

その他を設定するのは、次のいずれかの役職でなければなりません。

- 一般システム管理者
- フルフィルメント管理者

このオプションを使用すると、他のフルフィルメントアクションに固有ではない設定をカスタマイズできます。

[ユーザーパラメータマッピングテーブル]ページ（[\[設定メニュー\]](#)>[\[フルフィルメント\]](#)>[\[一般\]](#)>[\[その他の設定\]](#)）で他の設定を設定します。

parameter key	parameter module	parameter value	free text description	Updated By	Last Updated		
1	auto_renew_loan_days	fulfillment	2	The days period to au	ex_impl	2015/09/17	...
2	check_self_ownership_seri	fulfillment	true	Should self ownershij	-	-	...
3	copyright_region	fulfillment	US	Copyright Region	ex_impl	2017/06/01	...
4	demerit_enable	fulfillment	false	Whether the custome	-	-	...
5	demerit_history_days	fulfillment	0	How many days back	-	-	...
6	demerit_maximum_threshc	fulfillment	0	Number of demerits :	-	-	...
7	demerit_suspension_days	fulfillment	0	Period of days for sus	-	-	...
8	display_additional_digitizat	fulfillment	false	If true we diplay the	-	-	...

マッピングテーブルページ - その他の設定

Note

その他の設定は、機関レベルでのみ設定できます。[\[設定\]](#)ページの設定フィルタから必要な機関を選択します。

次の表は、その他の設定オプションについて説明しています。

その他の設定オプション

パラメータキー	説明
add_checked_at_information_to_loan_details_in_primo	Primoマイアカウント貸出の【ロケーション】フィールドにチェックアウトロケーションを表示できるようにするには、 true に設定します。デフォルトでは、このパラメータは偽に設定されており、チェックアウトロケーションを抑制します。
allow_activity_on_transferred_finesfees	Bursarのインポートが有効になっており、これが true に設定されている場合、bursarシステムにエクスポートされた罰金/手数料の支払いや免除などのアクティビティを実行できます。このパラメータが真に設定されている場合、[ユーザーの詳細]ページの[罰金/手数料]タブの行アクションメニューに放棄リンクが表示されます。デフォルトの偽に設定されている場合、振替えられた料金は変更できません。「 ユーザーの罰金および手数料の管理 」を参照してください。

パラメータキー	説明
	<hr/> <p>Note</p> <p>allow_activity_on_transferred_finesfeesがtrueに設定されている場合、金額に関係なく、すでにBursarにエクスポートされている罰金の更新（免除、支払いなど）もエクスポートされます。</p> <hr/>
allow_same_day_booking	trueに設定すると、予約解決が日数に設定されている場合、当日予約はブロックされます（ 予約解決 を参照）。
auto_renew_loan_days	入力された日数により、自動更新の対象となる貸出が決まります。したがって、たとえば、auto_renew_loan_daysに7が含まれる場合、期日が7日以内であるすべての貸出が考慮されます。これらの貸出の場合、更新は自動更新ポリシーに従って実行されます。 返却督促通知の送信と貸出更新の取扱いジョブ を参照してください。
auto_renew_loan_days_after_due_date	貸出終了後にitem_loansを自動更新する日数（上記のauto_renew_loan_daysを参照）。
auto_renew_loan_days_before_due_date	貸出終了前にitem_loansを自動更新する日数（上記のauto_renew_loan_daysを参照）。
auto_attach_digitization_to_citation	true に設定すると、デジタル化リクエストの引用にファイルを自動的に添付するオプションが含まれます。 false に設定した場合、オプションは使用できません。
auto_select_list_assignee	true に設定され、リーディングリストがコースに関連付けられている場合、 [設定] > [フルフィルメント] > [コース] > [処理部門] > [オペレーター] タブ の処理部門のオペレーターが自動的にランダムにリーディングリストに割り当てられます。これはロールオーバーされたリストにも適用されます。デフォルトである false に設定すると、担当者は手動でのみ設定できます。
blocks_display_remove_duplicates	<p>ユーザーに同じタイプのブロックが複数ある場合に、各タイプのブロックを1つだけ表示するかを決定します。</p> <p>デフォルトの偽の場合、すべてのブロックが表示されます。真の場合、次の表示から重複ブロックが削除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Primoマイアカウント]ページのブロックリスト。 • ブロックされたユーザーのアイテムを貸し出しましたまたは更新しようとしたときにブロックを表示するポップアップウィンドウ。 • AlmaとPrimoの両方で、ブロックされたユーザーのリクエストを作成しようとしたときに表示されるエラーメッセージ。
borrower_document_delivery_maximum_views	ユーザーがリソース共有ドキュメント配信サービスによって配信されたファイルのリンクにアクセスできる最大回数。
borrower_document_	このパラメータは廃止され、代わりに「真 (true)」/「偽 (false)」の値を持つ、デフォルトの「借り手へのドキュメント配信の送信」ルールが自動的に作成されます（ 高度なリソース共有設定 を参照）。

パラメータキー	説明
delivery_send_automatically	(以前は、デジタルドキュメントが借り手側にリンクとして受信された際に、ユーザーへのメールが自動的に送信されるかどうかを判断していました。)
check_patron_duplicate_borrowing_requests	<p>真に設定すると、リクエストがユーザーの既存のアクティブなリクエストの重複ではないことを確認するチェックが有効になります。リクエストが重複しているかを判断するためにAlmaが使用するフィールドは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 依頼者ID • タイトル • ジャーナルタイトル • OCLC番号 • ISBN/ISSN • 巻 • 章 • ページ数 • 号 • メモ <p>リクエストが同じ場合、新しいリクエストが保存されていないことを示すメッセージが表示されます。メッセージのテキストは、ラベルページ (<code>c.uresolver.request.ill.patron_has_duplicate_request</code>) で設定できます。デフォルトでは、これは偽に設定されており、重複のチェックは有効になりません。リソースシェア取寄せリクエストの管理を参照してください。</p>
check_self_ownership_serial	シリアルタイトルの自己所有チェックを有効にするには、 true に設定します。PrimoのGet It/View Itタブでリソース共有と購入リクエストのリンクが非表示になります。 false に設定されている場合、シリアルタイトルの自己所有チェックは実行されません。シリアルが自己所有であるかどうかに関わらず、Primoでは、リソース共有と購入リクエストのリンクが表示されます。
citation_solr_max_size_for_grouping	グループクエリに含める引用の最大数。グループサイズを制限するとクエリ速度は向上しますが、ファセットカウントで誤った結果が生じることに注意してください。
citation_rs_default_actual_pickup_location	(オプション) 引用のためのリソースシェアリクエストを開始するときのデフォルトの実際の受け取りロケーションコード。セットすると、リクエストフォームでリーディングルームでの使用のみチェックボックスが選択されます(無効にすることはできません)。 citation_rs_default_requester 、 citation_rs_default_owner 、 citation_rs_default_requested_pickup_location が設定されていない場合、このパラメータは無視されます。 引用の管理と取寄せリクエストの作成 を参照してください。
citation_rs_default_owner	(オプション) 引用のリソースシェアリクエストを開始するときに、リクエストを所有するデフォルトのリソースシェア図書館コード。 citation_rs_default_requester が設定されていない場合、このパラメータは無視されます。 引用の管理と取寄せリクエストの作成 を参照してください。
citation_rs_default_requested_pickup_location	(オプション) 引用のリソースシェアリクエストを開始するときのデフォルトのリクエストされた受け取りロケーションコード。 citation_rs_default_requester と citation_rs_default_owner が設定されていない場合、このパラメータは無視されます。 引用の管理と貸出リクエストの作成 を参照してください。

パラメータキー	説明
citation_rs_default_requester	(オプション) 引用のためのリソースシェアリクエストを開始するときのデフォルトのリクエスト司書ユーザー名。 引用の管理と取寄せリクエストの作成 を参照してください。
close_paid_lost_loan	true に設定すると、貸出中のアイテムの状態が「紛失」に変更され、最後の紛失または交換手数料がクローズされたときに貸出のステータスを[紛失され支払い済み]に変更できます。貸出は完了と見なされ、それ以上の罰金が発生したり、ユーザーの制限にカウントされたりすることはありません。 false (2019年1月のリリースより前にインストールした顧客のデフォルト値)に設定すると、貸出は貸出リストでアクティブなままになり、アイテムプロセスタイプは[紛失]に変更されます(ユーザーが紛失した手数料を支払ったかどうかに関係なく)。紛失され支払い済みの貸出、紛失貸出の両方で、アイテムが返却された場合、[紛失貸出をクローズ]ジョブが実行されて貸出がクローズされるまで、貸出ポリシーに従って交換手数料の払い戻しがトリガーされる可能性があります。「 紛失貸出管理 」を参照してください。
copyright_default_publication_date	このパラメータは、発行日が記録されていないそのようなリクエストをどのように処理するかを決定します。たとえば、パラメータの値を2017に設定すると、Almaによる2017年の記事のリクエストと見なされるため、公開日が2017を超えるルールはリクエストに一致するとは見なされません。デフォルトの空の値は、古いリクエストが常に著作権ルールに一致すると見なされることを意味します。
copyright_region	2文字の国コードは機関の地域を示します。著作権のライセンスオプションと承認を決定するために使用されます。値は大文字と小文字が区別されます。 現在、効果がある値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 英国 - Almaは、著作権のソースフィールド(リクエストの作成を参照)およびクリエイティブコモンズライセンスフィールド(引用の管理を参照)にさらに英国関連オプションを追加します。さらに、英国の著作権ライセンス機関(CLA)およびデジタルコンテンツストア(DCS)とのLegantoの統合が有効になっています。英国のデジタルコンテンツストア(DCS)との統合を参照してください。著作権オプションのソースは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> A - 機関が所有する紙の原本から B - ライセンスされたデジタルオリジナルから機関へ C - 著作権料の有料コピーから D - 共有規約の下の別のHEIから AU (オーストラリア) - Almaは、著作権のソースフィールド(リクエストの作成を参照)およびクリエイティブコモンズライセンスフィールド(引用の管理 および図書リストの一括更新を参照)にさらにオーストラリア関連オプションを追加します。著作権オプションのソースは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> W - 電子および非ページ付け P - ハードコピー、または電子およびページ区切り G - グラフィック/アートワークのみ
引用リクエストの作成	購入リクエストが引用にリンクされ、その後購入リクエストが別のMMS IDに再リンクされる場合、 purchase_request_relink_citation パラメータ(「構成」>「フルフィルメント」>「一般」>「その他の設定」)が true に設定(デフォルト)されている場合、引用は新しいMMS IDにリンクされます。パラメータが false に設定されている場合、引用は元のMMS IDにリンクされたままになります。参照 引用の管理 。
default_course_end_date	コースを追加するときに選択されるデフォルトの終了日(コースの追加を参照)。設定されていない場合、現在の日付が使用されます。日付は、機関の日付フォーマットに従ってフォーマット化する必要があります。
default_course_start_date	コースを追加する際に選択したデフォルトの開始日(コースの追加を参照してください)。設定されていない場合、現在の日付が使用されます。日付は、機関の日付フォーマットに従ってフォーマット化する必要があります。
default_user_group_for_fulfillment_network_locate	リソースシェア貸し手が、フルフィルメントネットワークの検索プロセスとそのルール計算のデフォルトユーザーグループを定義するために使用します。あらゆる機関レベルのユーザーグループコードを使用できます。デフォルトでは、値は空です。 フルフィルメントネットワークパートナーの設定 を参照してください。

パラメータキー	説明
delivery_service_allowed_origins	デジタルファイルビューアリクエストに対するJSON HTTPレスポンスを受け入れる場合（ デジタルファイルビューアサービスの設定 を参照）、レスポンスにCORS Access-Control-Allow-OriginヘッダーのURLを追加するようにAlmaに依頼できます。空のままにすると、AlmaはリクエストURLを使用します。
他のリストの需要にアーカイブリストを含める	trueに設定すると、アーカイブされたリストは、「他のリスト内のこのレコード」テーブルに表示されます。falseに設定すると、少なくともアーカイブされたリストに関連付けられた引用文献が、「他のリスト内のこのレコード」テーブルから除外されます。
demand_in_other_lists_start_date	需要をチェックするコース。可能な値： <ul style="list-style-type: none"> <no value> – すべてのコースをスキャン active – アクティブなコースのみをスキャンします date – この日付以降のコースをスキャンします（system_date_format形式で構成された日付フォーマットで）
demerit_enable	デメリット機能を有効にするには真に設定します。詳細については、 デメリットシステムの有効化 を参照してください。
demerit_history_days	日単位のデメリット追跡期間の長さ。ユーザーのデメリットポイントがデメリット追跡期間（つまり、このパラメータで指定された最後の日数）の間にdemerit_maximum_thresholdパラメータで指定された値を超える場合、システムはユーザーをブロックします。詳細については、 デメリットシステムの有効化 を参照してください。
demerit_maximum_threshold	追跡期間中に許可されるポイントの最大数。詳細については、 デメリットシステムの有効化 を参照してください。
demerit_suspension_days	ユーザーの停止期間の長さ（日数）。詳細については、 デメリットシステムの有効化 を参照してください。
disable_enter_closing_fulfillment_popups	確認ボタンやOKボタンが自動的にフォーカスされることなくフルフィルメント・メッセージをポップアップ表示できるようにします。こうすれば、オペレーターがメッセージを確認する際に、マウスまたはキーボードを使用して、確実に確認またはOKボタンに移動するようになります。このオプションは、 [Enter] キーを押すか、単に次のアイテムをスキャンした結果として生じるフルフィルメントメッセージの意図しない確認を防ぎます。
display_additional_digitization_attributes	<hr/> <p>Note</p> <p>このパラメータはPrimoVE環境では適用されません。設定オプションについては、Primo VEのリクエストフォームの設定を参照してください。</p> <hr/> <p>[取得する]フォームに次の部分的なデジタル化フィールドを表示するにはtrueに設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> chapterArticleAuthor chapterArticleTitle startPage endPage <p>[取得する]フォームの部分的なデジタル化フィールドを抑制するには、偽に設定します。</p> <p>その他の設定オプションについては、Primoリクエストフォームのカスタマイズを参照してください。</p>
display_course_students	trueに設定すると、コース情報の管理ページにコースの学生リストが表示されます。

パラメータキー	説明
distribute_fulfill_changes_last_run	<p>手動で変更されていない場合、このパラメータには、ネットワークフルフィルメントの変更をメンバーに配布するジョブが最後に実行された日時が含まれます。次回ジョブが実行されるときは、この時間以降に行われた変更のみが配布されます。通常、このパラメータの値を変更する必要はありません。ただし、このジョブにおける前回の実行が何らかの理由で失敗した場合、手動で変更を加えることが可能です。これにより、次のジョブでは分散プロセスの初期段階で加えられた変更が反映されるようになります。</p> <p>このパラメータはネットワークゾーンにのみ関連します。ネットワークゾーンでのフルフィルメント情報の設定を参照してください。</p>
document_delivery_cleanup_days	<p>デジタル化されたファイルがドキュメントサーバーに残っている日数。デフォルトは30で、最大は90です。ユーザーに送信するデジタル化アイテムの添付を参照してください。</p>
email_partner_configurable_line1	<p>現在サポートされていません</p>
email_partner_configurable_line2	<p>現在サポートされていません</p>
enable_booking_workflow	<p>真の場合、予約リクエストは他のすべてのユーザー冊子リクエストと同じように動作します。偽の場合、予約リクエストはアクティブ化されず、置き置き棚ワークフローを通過せず、タスクリストに表示されません。</p>
enable_moving_item_to_hold_shelf_from_self_check	<p>偽（デフォルト値）に設定されている場合、セルフチェックマシンを使用してチェックインされたリクエストアイテムは置き置き棚に置かれず、置き置き棚レターは送信されません。trueに設定すると、アイテムは置き置き棚に配置され、置き置き棚レターが送信されます。</p> <p>システムは、貸出・返却受付の置き置き棚処理ありパラメーター（貸出・返却受付一般情報フィールド参照）の定義に基づいて、アイテムを置き置き棚に置くか置き置き棚処理に入るかを決定することに注意してください。また、置き置き棚付きのセルフチェック貸出・返却受付にのみ関連します。貸出・返却カウンターに置き置き棚がない場合、資料は配送プロセスに入ります。置き置き棚ありの処理のオプションを有効にした場合、セルフチェック端末からのスキャン操作ではメールが送信されません。</p>
enable_open_access_services_from_unpaywall_api	<p>このユーザーパラメータを真に設定して、リンクリゾルバーの[表示]にオープンアクセスサービス（利用可能な場合）を含めます。この顧客パラメーターがfalseに設定されている場合、オープンアクセスサービスはリンクリゾルバーの「表示」から除外されます。このパラメータのデフォルト設定はfalseです。</p> <p>この顧客パラメータをtrueに設定すると、[オープンアクセスサービスが利用可能な場合にダイレクトリンクを無効にする]オプションが[ダイレクトリンク設定]オプションに表示されます。詳細については、ダイレクトリンクの設定を参照してください。</p> <p>Unpaywallサービスは、APIリクエストで送信されたEメールに基づいて通話を制限します。したがって、UnpaywallへのAPIコールのパラメーターに追加するには、機関のEメールを設定する必要があります。機関のEメールは、[組織単位の連絡先情報]タブ（[設定] > [一般] > [図書館] > [図書館の追加]または[図書館情報の編集]）で定義できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 優先Eメールが定義されている場合、このEメールがAPIコールで使用されます。 定義されていない場合は、機関固有の通常の無効なEメールを作成します。
enable_request_during_loan_for_	<p>新しくリクエストされたアイテムと元のアイテムの貸出期間ポリシーが異なる場合、既にユーザーが貸出中のアイテムがある書誌レコードに属するアイテムをリクエストできるようにするには、真に設定します。</p>

パラメータキー	説明
different_policy	
exclude_lost_and_claimed_returned_loans_from_overdue	true に設定すると、延滞の制限（延滞を許可されている貸出の数）から紛失および返却された貸出を除外します。
export_xlsx_fines_fees_report	true に設定すると、罰金および手数料のレポートファイルが*.xlsx形式で生成されます。パラメータが false の場合、*.xls形式が生成されます。
extend_due_date_beyond_user_expiry	<p>権限のあるスタッフメンバーが、ユーザーの有効期限を超えて貸出期日を延長できるようにするシステムの構成を有効にします。extend_due_date_beyond_user_expiryパラメータを（【フルフィルメント】>【その他の設定】メニューから）MANAGER、OPERATOR、またはALLの値で設定することにより、スタッフメンバーは、ユーザーアカウントの有効期限を過ぎて期日を延長するために必要な貸出・返却受付オペレーターの役割を決定できます。このパラメータを有効にたくない場合は、値を NONE のままにします。</p> <p>これにより、計算された返却期限やユーザーレコードの有効期限を手動で変更しなくても、アカウントの有効期限が近づいているユーザーに資料を貸し出すことができます。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>新しいパラメータは、パトロンワークベンチのローンにのみ影響します。セルフチェック貸出、手渡し貸出、および更新の動作は影響を受けません。</p> <hr/>
ful_network_default_pickup_inst	<p>フルフィルメントネットワークリクエストフォームの受け取り機関フィールドの初期値。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空白：受け取り機関の初期値は空白です。 ユーザー：初期値はユーザーの機関に設定されます。つまり、リンクされたアカウントユーザーはユーザーのソース機関を示します。 ローカル：過去と同様に、初期値はローカル機関に設定されます。これがデフォルトです。
fulfillment_general_electronic_services_links_merge	<p>このパラメータは、Primo VE環境でのみ使用され、General Electronic Service（GES）のURLテンプレートに冊子固有のパラメータと電子固有のパラメータ（btitleやjtitleなど）の両方が含まれている場合に、重複するGESリンクが[サービス]ページの[リンク]セクションに表示されないようにします。両方が存在する場合は、単一のGESリンクを生成するために使用するパラメータのタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> preferGetit – 両方がURLテンプレートで提供されている場合、冊子固有のパラメータが優先されます。 preferViewit – 両方がURLテンプレートで提供されている場合、電子固有のパラメータが優先されます。 false – どちらのタイプのパラメータも優先されませんが、重複するリンクが統合されて、「リンク」セクションに単一のリンクが表示されます。
fulfillment_network_shared_operator_name	<p>所有機関が、ある機関のアイテムをネットワーク内の別の機関に輸送しているオペレーターの名前を参照できるようにします。オペレーター名は次の場所に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> リソースリクエストの監視 - リソースリクエストの監視をご覧ください。 冊子アイテムエディタの一般タブ（右側の情報ペイン） - アイテムの操作をご覧ください。 冊子アイテムエディタの履歴タブ（アイテムの変更とフルフィルメントアクティビティ） - アイテムの操作をご覧ください。

パラメータキー	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 貸出履歴（ローン監査証跡） - 利用者サービスの管理をご覧ください。 <hr/> <p>Note</p> <p>デフォルトでは、このオプションはオフになっています。</p> <hr/>
fulfillment_network_shared_primo	<p>真に設定すると、（ネットワークゾーンではなく）ローカルフルフィルメントネットワークメンバーでジョブするとき、知的エンティティ情報を使用して、借り手が貸し手側でアイテムをより正確に見つけられるようになります。</p>
fulfillment_network_unique_barcodes	<p>フルフィルメントネットワークが一意のアイテムバーコードを使用しているかどうか：</p> <ul style="list-style-type: none"> FULL - バーコードはフルフィルメントネットワークのすべてのメンバーで一意であり、重複されません。アイテム所有者ドロップダウンリストは、[ユーザーサービスの管理]、[返却アイテム]、または[スキャンイン] ページに表示されません。Almaはバーコードを最初にローカルで検索し、次に他のすべての機関で検索します。バーコードが一致するとすぐに検索が完了し、処理が自動的に続行されます。 <hr/> <p>Note</p> <p>Full設定は検索範囲を広げるため、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> NONE - バーコードは一意ではありません。これがデフォルトです。 <p>どこでも受け取り/返却の設定を参照してください。</p>
generate_resource_sharing_temp_barcode	<p>リソースシェア図書館が、自動生成された一時バーコードを使用して、借りたアイテムを受け取り、貸出・返却できるように示すために、真に設定します。バーコードは、リソースシェアリクエストの外部識別子に基づいています（取寄せリクエストの作成のリクエスト属性フィールドテーブルの外部識別子フィールドを参照）。それ以外の場合は偽と設定します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>このパラメータがfalseに設定されている場合でも、貸出リクエストの作成時にバーコードが生成されるため、Almaは貸出アイテムごとに一時的なバーコードを生成します。ただし、この場合、自動生成されたバーコードはAlmaの内部使用に限られ、ユーザーには表示されません。</p> <hr/>
getit_use_alphabetical_sorting	<p>Primoの[取得する]ページで所蔵をソートするときのみアルファベット順ソートを使用するには、真に設定します。デフォルトのfalseに設定すると、他のソート基準が含まれます。Primo検索結果でのロケーションのオーダーの設定を参照してください。</p>
hide_single_holding_getit_details	<p>偽（デフォルト）に設定すると、[取得する]は単一の所蔵のアイテムを表示し、単一の所蔵の詳細を展開します。真に設定すると、所蔵の詳細が最初に折りたたまれます。複数の所蔵があり、そのうちの1つが意図的に開かれた場合、所蔵の詳細については、常に折りたたまれた状態になります。このパラメータは、[Alma図書館のPrimo表示]テーブルが空の場合にのみ適用されます。Primoでの利用可否のための図書館リストのフィルタ処理を参照してください。</p>
hold_shelf_additional_id	<p>これは、次のロケーションで使用される追加IDのフォーマットを制御します。</p>

パラメータキー	説明
regex	<ul style="list-style-type: none"> 受取印刷スリップレポートレター (全文) 取置き棚リクエストスリップレター (全文) 取り置きレター 取置き棚のリマインダーレター 取置き棚の有効期限更新レター アクティブおよび期限切れの取り置き棚のタスクリスト 利用者サービス管理のリクエストタブ <p>デフォルトでは、値は空です。空のままにすると、追加IDはデフォルトで、最後の7桁を切り捨てた後、3桁ごとにハイフンを付けて表示されます。別の表示にするには、レギュラー式を入力します。フォーマットはs/<regex>/<destination>です。値のフォーマットでエラーが発生した場合、追加IDのデフォルトフォーマットが使用されます。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>追加IDは、機関 ルールに従って生成されるように設定できます。（「追加IDリクエストの設定」を参照）。</p> <hr/>
ignore_group_filter_in_rs_locate	<p>これはリソース共有貸出元によって設定され、在庫管理グループがこれらのリソースに関連付けられている場合に、リソース共有貸出リクエストのための電子リソースの場所が指定されるかどうかを制御します。デフォルトでは、このパラメータはfalseに設定されています。在庫管理グループによりアクセスが制御されている場合、電子リソースはリソース共有用に配置されていません。顧客パラメータがtrueに設定されている場合、在庫管理グループがそれらに関連付けられている場合でも、貸出リクエストのために電子リソースは配置されます。詳しくは、電子リソースへの分散アクセスの設定を参照してください。</p>
ignore_lender_due_date	<p>真に設定すると、ユーザーにアイテムを貸し出すときにリクエストの期日が無視されます。代わりに、期日はフルフィルメントユニットで定義された利用規約に従って計算されます。</p> <p>さらに、このパラメータは、取置き棚のアイテムの有効期限の計算を制御します。trueに設定した場合、有効期限は現在の日付に貸出・返却受付の設定にある取置き棚での最大時間 (日)を足して計算されます。falseに設定した場合、有効期限は取寄せリソースシェアリクエストの期日からリソースシェアパートナーレコードの配送遅延 (日)を引いて計算されます。</p> <p>このパラメータは、rs_hold_shelf_expirationパラメータは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> rs_hold_shelf_expiration = 期日および ignore_lender_due_date = 真実 => 循環によって 机 rs_hold_shelf_expiration = 期日および ignore_lender_due_date = 間違い => リソース共有期限までに rs_hold_shelf_expiration = サークルデスクおよび ignore_lender_due_date = 間違い => 循環によって 机 rs_hold_shelf_expiration = サークルデスクおよび ignore_lender_due_date = 真実 => 循環によって 机
ill_item_creation_lib_code	<p>リソースシェア用の一時的なアイテムを作成する図書館のデフォルトコード。</p> <p>マルチキャンパス図書館を使用する場合は、この値を空白のままにして、ユーザーレコードでリソースシェア図書館を割り当てます。</p> <p>ALLに設定すると、設定されているすべてのリソースシェア図書館がすべてのユーザーに対して有効になります。ユーザーの特定の利用規約がリソースシェア図書館が有効になっていないことを示している場合、ユーザーの利用規約がこの設定を上書きします。</p>
ill_item_	<p>リソースシェア用の一時的なアイテムを作成するロケーションのデフォルトコード。</p>

パラメータキー	説明
creation_loc_code	<p>マルチキャンパス図書館を使用する場合は、この値を空白のままにして、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーレコードでリソースシェア図書館を割り当てます。 図書館のリソースシェア情報を設定するときに、取寄せのデフォルトのロケーションを設定します（リソースシェア図書館のパラメータの設定を参照）。
デジタル貸出猶予期間のライブラリ閉鎖日数を含める	<p>これはAlma Digital用です。利用可能であるという通知を受け取った後、ユーザーがデジタル表現にアクセスするまでに与えられた時間。詳細については、以下を参照してください：</p>
include_transferred_finesfees_in_alma_limits	<p>bursarのインポートが有効になっており、これが真に設定されている場合、罰金/手数料通知プロファイルでユーザーの現金制限とユーザーオプションの金額を計算するときに、bursarシステムに振替される罰金および手数料が含まれます。デフォルトの偽に設定すると、振替された手数料は考慮されません。「ユーザーの罰金および手数料の管理」を参照してください。</p>
instructor_role_expiration_months	<p>自動的に追加されたインストラクターの役職が期限切れになるまでの月数</p>
item_level_requesting	<p>Primoからのリクエストが資料レベルでのみ行われると定義します。</p>
lending_requests_renewed_status	<p>更新されたILL（受付）を、パートナーが受領したステータスではなく更新承認ステータスに設定します。（詳細については貸出リクエストの管理をご覧ください。）</p>
maximum_overdue_block_per_block	<p>延滞ブロックの最大期間ポリシーを各ブロックに適用するか、全体ですべてのブロックに適用するかを決定します。[延滞時にブロックする]ポリシーが累積オプションに設定されている場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> このパラメータが真に設定されている場合、延滞ブロックの最大期間ポリシーが各ブロックに対して個別にチェックされます。 このパラメータが偽に設定されている場合、延滞ブロックの最大期間ポリシーが合計ブロック期間に対してチェックされます。最大期間がすでにブロックされている場合、新しいブロックは作成されません。 <p>延滞貸出による延滞ブロックの設定を参照してください。</p>
missing_item_requestable	<p>行方不明とマークされたアイテムのリクエストを有効にするには真に設定します。</p>
network_display_logic_distribution_members_behavior	<p>配分時の機関ルールの非アクティブ化または削除を制御します。このパラメータの値は、なし、削除、非アクティブ化です。デフォルトはなしで、機関のルールは変更されません。削除すると、すべての機関ルールが削除されます。非アクティブ化は、すべての機関ルールを非アクティブ化します。</p>
network_display_logic_rules_precedence	<p>ネットワークレベルまたは機関レベルの表示ロジックルールが最初に行われるかどうか。デフォルトはfalseで、機関ルールを優先するように設定します。真の場合、ネットワークゾーンルールが優先されるものとして定義されます。</p>
network_ges_	<p>ネットワークゾーンのレコードが分配されるときに、メンバー機関の一般的な電子サービスレコードで行われる処理を制</p>

パラメータキー	説明
distribution_members_behavior	御します。有効な値は以下のとおりです。削除, 無効化, および 無し。「削除」は、すべてのローカルレコードを削除します。「非アクティブ化」はローカルレコードを保持しますが、それらを非アクティブ化します。「なし」は、以前のすべてのレコードを分配前とまったく同じままにします。
network_rota_assignment_rules_precedence	ネットワークまたはローカルの勤務表割り当てルールが最初に実行されるかどうか。デフォルトは false で、ローカルルールが優先されるように設定されます。ローカルルールは、 図書館 ルール（定義されている場合）または 図書館 ルールが存在しない場合は機関のルールのいずれかです。 true に設定すると、ネットワークゾーンルールがローカルルールの前に適用されます。
network_sending_rules_precedence	<p>新しい取寄せリクエストが作成されたときに、ネットワーク、機関、または図書館レベルの取寄せリクエストルールを送信するかを最初に実行します。</p> <p>真に設定すると次のルールが適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークゾーンルールが存在する場合は、それらが使用されます。 そうでない場合は、図書館レベルのルールが存在する場合はそれらが使用されます（一致するものが見つからない場合は、デフォルトの図書館レベルのルールが適用されます）。 ネットワークゾーンルールも図書館レベルルールも存在しない場合は、機関レベルのルールが使用されます（一致するものが見つからない場合は、デフォルトの機関レベルのルールが適用されます）。 <p>偽に設定すると、次のルールが適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館レベルのルールが存在する場合は、それらが使用されます。 そうでない場合は、機関レベルのルールが使用されます。
on_locate	<p>Almaによるリポジトリでの一致発見後、競合するリポジトリ情報によって引用情報が上書きされるかどうか。可能な設定は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> オーバーライド - Alma は引用の情報をリポジトリの情報で上書きします（特定のフィールドの情報がリポジトリにない場合、引用の情報は削除され、フィールドは空のままになります） オーバーレイ：Almaが引用情報をリポジトリの情報でオーバーライドします（情報がリポジトリにない場合、引用情報はそのまま残ります） overlay_no_type：そのまま残されるタイプ情報を除いて、Almaによるオーバーレイなしタイプは、引用のデータをリポジトリのデータに置き換えます。 マージ：Almaが、引用情報をリポジトリの情報とマージします；つまり、不足している引用情報のみがリポジトリの情報を利用して埋められます 無視 - Almaはリポジトリ内の情報を無視し、引用情報をそのまま残します
overdue_at_change_due_date	true （デフォルト）に設定していて、すでに延滞している貸出の期日が 変更 された場合、期日がアップデートされる前に延滞の罰金を作成され（アップデートプロセスと同様）、延滞の罰金が自動的にドロップされないようにします。この場合に請求を却下するには、 偽 に設定します。 延滞および紛失したプロファイルの追加 および 貸出期日の一括変更 を参照してください。
overdue_at_claim_return_loan	返却をクレームされたアイテムの罰金の発生を停止する場合は、 真 に設定します（すでに発生した罰金はユーザーの合計に追加）。それ以外の場合は、 偽 に設定すると、罰金が引き続き発生します。
overdue_at_lost_loan	<p>このパラメータの値は以下を決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出が紛失にアップデートされたときに、延滞罰金をユーザーの残高に適用するか。

パラメータキー	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 貸出が紛失しても、延滞罰金が引き続き発生するか。 <p>延滞の罰金は、適用されるまで引き続き発生します。適用されると、発生なくなります。このパラメータが真に設定されている場合、貸出が紛失としてマークされたときに延滞の罰金が適用され、これにより日数は加算されなくなります。偽に設定すると、貸出が紛失としてマークされたときに延滞の罰金は適用されないため、引き続き日数が加算されます。この場合、紛失した貸出が返還されると、未払いの罰金が適用されます。</p>
overdue_lost_loan_profile_ignore_due_hour	<p>貸出が延滞および紛失した貸出プロフィールで延滞しているかどうかを計算する際に、締切時間が考慮されているかどうか。</p> <p>偽に設定されている場合（デフォルト）、プロフィールが延滞1日に設定されていれば、昨日12:00に期限が切れた貸出は12:01に延滞と見なされます。</p> <p>ジョブの実行時に貸出の締切時間に達していない場合、貸出は翌日まで延滞とはみなされません。</p> <p>trueに設定されている場合、貸出は翌暦日の即時一致と見なされ、期限は無視されます。そのため、その日にジョブが実行されると、何時であつても貸出は延滞とは見なされません。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>このパラメータは、貸出 - 延滞および紛失アイテムジョブにのみ適用され、延滞ブロックには適用されません。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>休業日にメールを送信しないというリクエストにより、値>0かつタイプ=営業日の場合、Almaはさらに追加の日をチェックします。</p> <hr/>
overlay_no_type (Leganto)	<p>overlay_no_type 値は、リポジトリの一致が見つかったときに、既存の二次引用タイプをどのように処理するかを制御するために追加されます。 on_locate パラメータキーで、overlay を選択すると、引用の二次引用タイプが書誌タイプで上書きされ、overlay_no_type を選択すると二次引用タイプが維持されます。</p>
override_user_block_in_another_institution	<p>フルフィルメントネットワーク内の別の機関からアイテムを貸し出す場合、アイテムを所有する機関内のユーザーのブロックにより、ユーザーはアイテムを借りることができなくなります。このパラメータをtrueに設定すると、ローカルスタッフが別の機関からユーザーブロックを上書きし、ユーザーにアイテムを貸し出すことができるようになります。</p>
patron_services_timeout_minutes	<p>[ユーザーサービス]ページが閉じるまでの分数。</p> <p>1〜30分の値を設定できます。デフォルト値は2分です。</p>
personal_copy_fu	<p>インストラクターの個人用コピーの仮想ロケーションのフルフィルメントユニットコード。空白の場合、ロケーションはフルフィルメントユニットなしで作成されます。</p>
personal_copy_library	<p>図書館スタッフに属するリソースを識別するために必要な仮想ロケーションを含む仮想図書館の図書館コード。無効にするために空白のままにすると、インストラクターが引用を個人用コピーとして記録できなくなります。</p>
popup_message_system_notes 2026年2月開始	<p>このフラグはデフォルトで「偽 (false)」に設定されています。「真 (true)」に設定すると、ユーザーのアカウントにシステムに関する注記がある場合に、貸出・返却カウンターで担当者に通知するポップアップアラートが有効になります（詳細はユーザーサービスの管理を参照）。</p>

パラメータキー	説明
prefer_doc_delivery_from_e-resources	両方が存在する場合に印刷リソースからではなく電子リソースからデジタル化を行う場合は、 true に設定します。
prefer_remote_storage	Primoの[取得する]タブで結果を表示する際、Primoに発行する際、またはPrimoリアルタイム利用可否 (RTA) でリモートストレージアイテムに優先順位を割り当てる際には、 真 に設定します。
primo_loan_list_sorting	[Primoマイアカウント]> [貸出]で貸出がソートされるオーダー。デフォルトでは、貸出は期日による降順でリストされま す。有効な値は、昇順および降順です。
primo_ve_ドキュメント配信ファイルの有効期限	生成されたドキュメント配信用Amazon URLがPrimo VEで有効となる期間。
Primo_VE_MANUAL_ALTERNATIVE_EMAIL_VE_RS	true に設定すると、デジタルリソースシェアリクエストに追加する 代替Eメールの入力が必要になります。
Primo_VE_photocopy_other_pickup	true に設定すると、Primo VE ILLフォームのコピーでリソースシェア 図書館以外の受取場所を選択できるようになります。
purchase_request_relink_citation	「真 (true)」に設定すると、購入リクエストが引用にリンクされます。その購入リクエストが新しいMMS IDに再リンクされた場合、引用も新しいMMSIDに再リンクされます。「偽 (false)」に設定すると、引用は元のMMS IDにリンクされたままになります。creating_requests_for_citations も参照してください。
rapidill_extended_borrowing_integration	true に設定すると、取寄せ側のRapidILL統合オプションがアクティブになります。
rapidill_extended_integration	true に設定すると、貸し手側のRapidILL統合オプションがアクティブになります。
reading_list_auto_locate_citation_upon_creation	真の場合、司書が非リポジトリの引用を作成すると、Almaはその引用を目録アイテムに一致させ、リンクさせることを試みます。Almaがこれに成功した場合、引用のステータスは[リソースが見つかりました]です。それ以外の場合、ステータスは[見つけれられません]となります。 falseの場合、司書は手動で引用を目録に一致させるを試みることができます。
reading_list_citation_sorting	図書リスト内の引用のソート順を決定します。 TITLE 、 AUTHOR 、 CALLNUMBER 、 CREATEDATE 、または INSTRUCTORORDER を入力します (Legantoのみ: Legantoのインストラクターが設定したオーダーに従ってオーダーを設定)。デフォルト値はタイトルです。引用の管理を参照してください。
recall_during_loan_prefer_	このパラメータは、貸出中のどのコピーが自動的にリコールされるかを決定します。「偽 (false)」 (デフォルト値) に設定すると、チェックアウトによってリコールプロセスが開始された資料は、リコールステータスで貸し出されま

パラメータキー	説明
oldest_loan	す。trueに設定した場合。Almaは、一番長い間貸し出されていたコピーをリコールします。
remember_last_loan_display	[ユーザーサービス]ページで真に設定すると、オペレータが選択した最後のオプション（すべての貸出（すべて）または現在のセッションの貸出のみ（このセッション））に従って貸出が表示されます。 false を指定すると、現在のセッション（このセッション）の貸出のみが表示されます。
renew_all_loan_threshold	0より大きい場合、Primoマイアカウントからすべて更新を選択したときに同時に更新できる貸出の最大数。ユーザーが閾値よりも多くの貸出を更新しようとする、Almaは新しいエラーコード0037とエラーメッセージを返します。 0（デフォルト）は、一度に更新できる貸出の数に制限がないことを示します。
requester_note_auto_generate	true に設定すると、リーディングリストの引用から購入リクエストが作成されたときに依頼者メモが自動的に作成されます。そのメモには、コース、インストラクター、コピー数、および参加者数に関する情報が含まれています。
デジタル配送が必要	このパラメータを true に設定すると、貸し手はアイテムをデジタルで発送するときに配送利用規約を選択する必要があります。デフォルトは false であり、配送利用規約を割り当てずにデジタルで発送することが可能になります。詳細については、 ドキュメント配信ページを使用してデジタル化されたアイテムを配信する そして デジタル配送利用規約の設定 。
resource_locate_by_type	リソースを見つけるための資料タイプを決定します。このパラメータに指定できる値は、引用資料タイプテーブルで定義されている資料タイプコードです。
resource_locate_mode	リソースを見つけるためのモードを決定します。このフィールドの値を OR に設定すると、Legantoは、[フィールドで引用を検索]マッピングテーブルのいずれかのフィールドに基づいて引用を検索します。このフィールドの値を AND に設定すると、Legantoは、[フィールドで引用を検索]マッピングテーブルのすべてのフィールドに基づいて引用を検索します。
resource_locate_multiple_matches	複数の一致が見つかった場合の一括ジョブの引用の処理および強化のデフォルトアクション。値： 手動 （デフォルト）、または first_by_inventory_type 。 引用の一括処理および強化 およびパラメータ resource_locate_multiple_matches_priority を参照してください。 <hr/> Note Legantoを使用している場合、これにより、インストラクターによって追加された引用のリソースを自動検索する動作も決定されます。 <hr/>
resource_locate_multiple_matches_priority	resource_locate_multiple_matches の first_by_inventory_type を選択した場合、優先順位を E （電子）、 P （冊子）、および/または D （デジタル）の値を優先順位の順にカンマで区切って設定してください。例えば、 E,P と指定すると、最初の優先順位は電子、2番目の優先順位は物理、デジタルリソースの一致は考慮されません。 引用の一括処理および強化 を参照してください。 <hr/> Note Legantoを使用している場合、このパラメータは、インストラクターによって追加された引用のリソースを自動検索するための動作も決定します。 <hr/>
resource_sharing_protocol	[検索エージェント]アクションがパートナーのシステムから呼び出されたときにNCIPピアツーピアパートナーに表示される値。詳細については、 リソースシェアリクエストページのNCIPピアツーピアパラメータリスト を参照してください。

パラメータキー	説明
results_best_location_enable	<p>[取得する]およびRTAサービスを使用するときに、ロケーションに応じて結果リストに優先順位を付けるには、真に設定します。デフォルト設定は偽です。</p> <p>冊子アイテムの場合、値を真に設定すると、利用可能なアイテムのユーザーへの距離の近さに応じて、ディスカバリーシステムの検索結果の所蔵ロケーションが表示されます。デフォルト値の偽を使用すると、ユーザーの物理的なロケーションに関係なく、利用可否に応じて所蔵ロケーションが表示されます。一時的なロケーションにある利用可能なアイテムが上部に表示され、その後恒久的なロケーションにあるアイテム、リモートロケーションにあるアイテムが続きます。</p> <p>Almaは、ユーザーのIPアドレスと図書館のIPアドレスを検索されたアイテムの所蔵と比較することにより、ユーザーへの距離の近さに応じてディスカバリーシステムの検索結果に所蔵ロケーションのリストを表示できます。この機能を利用するには、図書館にIPアドレスを設定する必要があります (図書館のIPレンジの設定を参照)。</p>
return_lost_loan_from_self_check	<p>偽で、現在紛失していると宣言されているアイテムのチェックインメッセージがAlmaに送信されると、返却アクションがブロックされ、メッセージがユーザーに表示されて、ユーザーを貸出・返却受付に誘導します。デフォルトは真です。</p>
rl_auto_assign	<p>図書リストをジョブ中のユーザーに自動的に割り当てるか。すべてに設定すると、リストでジョブするユーザーにすべてのリストが自動的に割り当てられます。未割り当て リストにのみ自動的に割り当てるには、未割り当てに設定します。なしに設定すると、自動割り当てが無効になります。 図書リストの編集を参照してください。</p>
rs_add_currency_to_mashup_form	<p>Primoリソースシェアフォームの最大料金フィールドラベルの通貨を表示しない場合、偽に設定します。</p> <p>Primoリソースシェアフォームの最大料金フィールドラベルに通貨を表示する場合、真に設定します。</p> <p>詳細については、Primoリソースシェアリクエストフォームのカスタマイズを参照してください。</p>
rs_allow_actions_on_scan_in	<p>アイテムが受け取られていない場合、アイテムをスキャンするページから受け取りと配送、返却アイテムの管理から配送、ユーザーサービスの管理から貸出の許可または禁止を行います。偽に設定すると、ILL (依頼) またはILL (受付) がリクエストのオーナーであるリソースシェア図書館受付のアイテムをスキャンするページからスキャンされる際に、上書きオプションを含むエラーメッセージが表示されます。また、ユーザーサービスの管理ページから貸出が実行されたが、アイテムがまだ受け取られていない場合にも表示されます。また、上書きオプションを含まない返却アイテムの管理ページにエラーメッセージが表示されます。真に設定すると、これらのプロセスを実行してもエラーメッセージが生成されません。デフォルトは真です。</p> <p>詳細については、アイテムのスキャンを参照してください。</p>
rs_auto_renew_borrowed_loans	<p>リソース共有貸出の自動更新を有効にします。</p>
rs_auto_request_lending	<p>trueに設定すると、既存のリソースと一致する着信ILL (受付) に対して移動/デジタル化リクエストを自動的に出せるようになります。リソースが冊子フォーマットでリクエストされた場合、移動リクエストが行われます。リソースがデジタルフォーマットでリクエストされた場合、デジタル化リクエストが送信されます。</p> <p>デジタル化部門 リソースは rs_default_digitization_department に指定されています。</p>
rs_auto_request_lending_with_serials	<p>ILL (受付) が少なくとも1つの逐次刊行物アイテムに関連付けられている場合、このパラメータをfalseに設定すると、関連付けられた移動/デジタル化リクエストが自動的に作成されなくなります。trueに設定されている場合、移動/デジタル化リクエストは引き続き作成されます。一般に設定されている場合、移動/デジタル化リクエストは一般リクエストになります。一般リクエストの処理の詳細については、こちらの手順8~9を参照してください。</p> <p>デフォルトは 真です。</p>

パラメータキー	説明
rs_auto_request_lending_with_volume_issue	<p>移動/デジタル化リクエストが正しい巻または発行を識別しない可能性があるため、貸し手に送信されたILL（依頼）に巻または発行が含まれている場合に、ILL（受付）に対して移動/デジタル化リクエストが自動的に作成されないようにするには、falseに設定します。一般に設定されている場合、移動/デジタル化リクエストは一般リクエストになります。一般リクエストの処理の詳細については、こちらの手順8～9を参照してください</p> <p>このパラメータのデフォルトは真で、既存の機能に対応しています。このパラメータは、巻または発行を含まない取寄せリクエストには影響しません。</p>
rs_block_sending_requester_info	<p>別の機関に送信されるリソースシェアリクエストで、ユーザー情報を表示しないようにできます。デフォルトは偽です。trueに設定すると、ISOパートナーパラメータの[依頼者情報の送信]チェックボックスが非表示になります。また、パラメータをTrueに設定すると、情報がNCIPのブローカーに転送されるのを防ぐことができます。</p>
rs_borrower_copyright_management	<p>真に設定すると、リソースシェアデジタル取寄せリクエストに著作権の承認のチェックが適用されます。このパラメータを真に設定すると、フルフィルメント設定メニューの[著作権ステータス]ページも表示されます（リソースシェアの著作権ステータスの設定を参照）。</p>
rs_default_digitization_department	<p>貸出リクエストに一致する資料が移動されるデジタル化部門の名称。これは、たとえばDIGI_DEPT_INSTのようなコードです。部門名を入力するか、prefer_localと入力すると、当該資料が所蔵されている図書館の部門に、Almaがそのリクエストを割り当てます。（2026年2月開始）図書館に複数のデジタル化部門がある場合、Almaは自動的に貸出・返却カウンターであり、かつ当該資料の場所と戻し棚に関係する部門を1つ選択します。rs_auto_request_lendingも参照してください。</p>
rs_default_pickup_location	<p>自動検索リクエストで、資料が配送される図書館および場所のコードを保持します。形式はLIBRARY_CODE.LOCATION_CODEです。</p>
rs_disable_borrowing_auto_assign	<p>偽に設定すると、手動で作成されたリクエストまたはAlmaに保存されたリクエストに対して、取寄せリクエストをログイン中のオペレータに自動的に割り当てます。取寄せリクエストが自動的に割り当てられないようにするには、trueに設定します。これがデフォルト値です。</p> <p>詳細については、タスクの再割り当てを参照してください。</p>
rs_disable_lending_auto_assign	<p>真に設定すると、未割り当てまたは他のユーザーに割り当てられたリソースシェアILL（受付）を編集するときに（つまり、リソースシェアILL（受付）のタスクリストページの未割り当てまたは他に割り当て済みタブに表示）リクエストに対して再割り当てを選択した場合にのみ、編集ユーザーに割り当てられます。他の編集オプションを選択すると、リクエストは未割り当てまたは他に割り当て済みタブに残ります。</p> <p>falseを指定すると、編集オプションを選択すると、リクエストが編集ユーザーに自動的に割り当てられます（つまり、リクエストは[自分に割り当て済み]タブに移動）。</p>
rs_display_items_not_requestable	<p>真に設定すると、ILL（受付）のフルフィルメントオプションの管理の冊子サービスリストにリクエストできないアイテムが表示されます。これがデフォルト値です。</p> <p>偽に設定すると、リクエスト不可能なアイテムが表示されません。</p>
rs_display_level_of_service	<p>Primoリクエストフォームにサービスレベルを表示するには、真に設定します。</p>
rs_do_not_send_request_when_locate_fails	<p>接続の問題などの技術的なエラーが発生した場合に、貸出パートナーを業務表から自動的に削除できるようにします。リソースシェアのためのアイテムの検索も参照してください。</p>
rs_enable_lending_ship_	<p>真に設定すると、配送アイテムからILL（受付）を自動的に作成する前に警告ポップアップが表示されます。警告メッセージなしでリクエストを自動的に作成するには、偽に設定します。詳細については、配送アイテムを参照してください。</p>

パラメータキー	説明
warn_popup	
rs_external_id_prefix	これにより、外部識別子のフォーマットが設定されます。可能な値は code または id です。 code に設定すると、外部IDは（以前のように）{institution code + a generated number}として作成されます。 id の設定すると、外部IDは{customer id + institution id + a generated number}として作成されます。
rs_fail_locate_multiple_results	貸し手から複数の結果を返す検索の処理方法を決定します。偽に設定すると、検索は一致する結果をランダムに返します。真に設定すると、結果が複数の場合、検索は失敗します。取寄せを見つけるプロセスを参照してください。
rs_failure_note_need_dismiss	パートナーへのメッセージ送信に失敗したリソースシェアリクエストの動作を決定します。デフォルトである true に設定した場合、メモは手動で閉じる必要があります。メモを手動で閉じる必要をなくするには、パラメータを false に設定します。
rs_hold_shelf_expiration	リソース共有リクエストと 取寄せリクエストのために受け取ったアイテムの保留棚の有効期限がどのように計算されるかを決定します。 due_date 値は、リクエストの期限から時間がかかることを意味します。 circ_desk 値は、時間は取り置き貸出棚の構成から取得されることを意味します（「 取り置き棚の管理 」を参照してください）。 このパラメータは、貸し手の支払期日を無視するパラメータ。見る ここ 詳細については。
rs_ignore_electronic_for_physical_request	true に設定すると、取寄せ側がリクエストしたフォーマットが物的または冊子返却不可の場合に、検索プロセス（取寄せ側）が貸し手の電子目録を無視するようになります。 リソースシェアのためのアイテムの検索 を参照してください。
rs_keep_expired_request_active	期限切れのリソース共有リクエストを有効なまま維持します。 値が「偽（false）」のとき、貸出機関から期限切れステータスを受信し、追加のパートナーが見つからない場合、リクエストは完了したとみなされ、キャンセルレターがユーザーに送信されます。 値が「真（true）」のとき、貸出機関から期限切れステータスを受信し、追加のパートナーが見つからない場合、リクエストは完了したとはみなされず、ユーザーにキャンセルレターは送信されません。
rs_keep_rejected_request_active	これは、リソース共有パートナーによって拒否された後、リソースシェアリクエストをアクティブのままにするかを管理します。有効な値は、なし、取寄せ、貸出および両方です。デフォルト値である「なし」に設定すると、リクエストは完了します。取寄せリクエストが拒否された場合、Almaはキャンセルメッセージをユーザーに送信します。取寄せ、貸出、または両方に設定すると、リクエストは有効なままになります。タスクリストに有効として表示されるかどうかは、取寄せリクエストの非有効フィルタの設定（ 高度なリソース共有設定 を参照）によります。詳細については、 ILL（依頼）の拒否 または ILL（受付）の拒否 を参照してください。
rs_no_authentication_document_delivery	ユーザー認証を必要とせずにドキュメント配信にリンクを追加します。
rs_prefer_recall_method	リクエストされたリソースに、リモートの借り手に配送されたコピーと、地元のユーザーに貸出されたコピーがある場合、配送されたアイテムを最初にリコールするには真に設定します。この機能を使用するには、関連するワークフローファイルにアイテムのリコールアクションも含まれている必要があります。 初にローカル貸出のコピーをリコールするには、偽に設定します。
rs_rapido_auto_	Rapidoの場合：物理インベントリがあるデジタル着信リクエストに対して、自動でデジタル化リクエストを作成しま

パラメータキー	説明
request_electronic	す。
rs_rapido_auto_request_lending_multi_branches	Rapidoの場合：複数の部門に所蔵がある場合、貸出フルフィルメントリクエストを自動的に作成します。
rs_specific_edition_only_default	Primoでリソースシェアリクエストフォームを開く際に【特定のエディションのみ】チェックボックスをオンにするには、 true （デフォルト）に設定します。
rs_support_add_service	リソースシェアリクエストフォームに表示する代替住所フィールドに対して 真 に設定します。
rs_update_rapid_with_lending_offtime	「 真 (true) 」に設定すると、Alma内のリソース共有図書館の「利用不可期間」がRapidILLで自動的に更新されます（詳細は 貸出のカスタマイズ を参照）。
rs_uresolver_locate	真 に設定すると、電子リソースの検索プロセスが、Almaリンクリゾルバーがサービスを 検索方法 と同様のカバレッジ情報を考慮する必要があることを示します。 取寄せを見つけるプロセス を参照してください。
rs_use_addressfrom_letter_param	<p>true（デフォルトはfalse）に設定すると、フルフィルメント > ライブラリ管理 > 連絡先情報に設定された優先メールアドレスからレターが送信される代わりに、次のレターの送信元 (設定 > 一般 > レター > レターの設定)のレター設定からe-mailが送信されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部から取得されたレター 貸出リコールEメールレター 取寄せ利用者クレームEメールレター キャンセルEメールレター (全文) 更新Eメールレター (全文) 受入スリップレター (全文) 破損Eメール通知 (全文) 紛失Eメールレター (全文) 借用者延滞Eメールレター 発信Eメールレター (全文) 借用者受入Eメールレター 借用者返却Eメールレター 貸し手チェックインEメール通知書 貸出機関拒否Eメールレター 貸出回答Eメールレター 貸出機関発送Eメールレター 貸出機関提供予定Eメールレター

パラメータキー	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザーへのお問い合わせレター • リソース共有リクエストレター • リソースシェア返却スリップレター • リソースシェア配送スリップレター
rs_use_alternative_address	リクエストから別のアドレスを使用できるように、リソース共有レターを有効にします。
rs_use_new_mashup_form	<p>フルフィルメント設定メニューのリソースシェアフォームのカスタマイズページを有効にするには、真に設定します。デフォルト設定の偽では、リソースシェアフォームのカスタマイズページがメニューから非表示になります。</p> <p>詳細については、Primoリソースシェアフォームのカスタマイズを参照してください。</p>
rs_use_tou_for_lost_item	貸出利用規約に基づいて、リソース共有アイテムの紛失に対しては、利用者に罰金と手数料が加算されます。
rs_yearly_ill_limit_start_date	ユーザーによるリソースシェアリクエストの年間制限の基準となる年始日。日付フォーマットはDDMMであり、デフォルトは0101です。詳細については、 フルフィルメントポリシーの追加 を参照してください。
rs_z39_locate_replace_amp	リソースシェア貸出リクエストの場合、「Z39.50」タイプのロケーションプロファイルで定義されたパートナーでリソースを見つける際、「&」記号は検索プロセスのタイトルおよび作成者フィールドで使用されます。デフォルトの NONE に設定される場合、「&」記号はそのまま残り、削除されません。 AND に設定される場合、「AND」に置き換えられます。 BLANK に設定される場合、スペースに置き換えられます。
self_check_proxy_checkout	セルフチェックマシンでスポンサーへの自動チェックアウトを有効にするには、 真 に設定します。チェックアウトしているユーザーが単一のスポンサーのプロキシであり、これが 真 に設定されている場合、アイテムは自動的にスポンサーにチェックアウトされます。ユーザーが複数のユーザーのプロキシである場合、既存の動作が保持されます。デフォルト設定の 偽 では、既存の動作が保持されます。
send_courtesy_notices_behavior	<p>自動更新ジョブの動作を制御します（通知 - 臨時通知の送信と貸出更新の処理）。</p> <p>値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DD_WITHIN_RANGE_DAILY - resend_courtesy_noticesパラメータが以前真に設定されていた機関の場合、この値は新しいパラメータにデフォルトとして設定されます。ジョブは、最終実行日から今日までの期日にauto_renew_loan_daysの値を加えた貸出で実行されます。これは、貸出が更新されない場合、複数の臨時通知が送信されることを意味します。たとえば、日パラメータが7に設定されており、貸出を更新できない（つまり、リクエストされている）場合、アイテムの期日までユーザーにリマインダーが毎日送信されます。アイテムの期限が来るまで通知を毎日送信できます。この値は、期日が[フルフィルメントジョブの設定]ページのレンジ内にある場合の[日次]の貸出の処理値に対応します。 • DD_ON_EXACT_DEFINED_DAY - 他のすべての機関では、これがデフォルト値です。臨時通知は、臨時通知が送信するように設定されている期日までの日数に基づいた正確な日にのみ送信されます。臨時通知は再送されません。この値は、期日がフルフィルメントジョブの設定 ページで定義された日に完全に一致する場合の貸出の処理値に対応します。 • DD_WITHIN_RANGE_ONCE - 臨時通知は、ジョブで定義されている期日の前日以降に1回だけ送信されます。こ

パラメータキー	説明
	<p>の値は、[フルフィルメントジョブの設定]ページの期日がレンジ内にある 場合の貸出の処理値に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DD_WITHIN_RANGE_SINGLE_NOTIFICATION - 臨時通知は、ジョブで定義された 期日の前日以降に 1 回だけ送信されますが、貸出を更新できない場合、ジョブは期日まで複数回実行される可能性があります。この値は、フルフィルメントジョブの設定ページでレンジ内で通知を繰り返さずに毎日の貸出の処理の値に対応します。 <p>値を変更すると、[フルフィルメントジョブの設定]ページの貸出の処理ドロップダウンリストの値がアップデートされます。その逆も然りです。</p>
send_query_to_patron_use_xsl	<p>このパラメータは、[ユーザーへのクエリ]レターの構成を、ユーザー クエリ タイプ、またはユーザー クエリ テンプレートのどちらを使用して実行するかを制御します。ユーザー クエリ タイプは、新しく、より柔軟な XSL ペースのレター構成システムを使用して構成され、現在デフォルトのオプションです。ユーザー クエリ テンプレートは旧システムであり、非推奨です。ユーザー クエリ タイプの構成を参照。</p> <p>このパラメータをtrueに設定すると、パトロン クエリ タイプが使用されます、パトロン クエリ タイプオプションが 構成 > フルフィルメント > リソース共有メニューに表示されます。詳細については、ユーザー クエリ タイプの構成を参照。</p> <p>このパラメータをfalseに設定すると、ユーザー クエリ テンプレートが使用されます、ユーザー クエリ テンプレートオプションが 構成 > フルフィルメント > リソース共有メニューに表示されます。詳細については、ユーザー クエリ テンプレートの構成を参照。</p>
separate_patron_notifications_by_library	<p>このパラメータを有効にすると、貸出アクティビティレター、返却督促レター、リクエスト報告書、延滞・紛失通知書など、複数図書館からの情報を集約した通知書を、図書館ごとに集約して送信できるように、機関がAlmaを設定することが可能になります。生成されたレターは特定の図書館から送られます。</p> <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通知プロセスが開始された場合、図書館ごとに分割されると、複数の通知が送信されます。例えば、ユーザー ワークベンチからアクティビティレポートを送信する際に、ユーザーが複数の図書館に対し貸出や罰金がある場合、そのような図書館ごとにアクティビティレポートが送信されます。 • 特定の図書館が所有していないフルフィルメント・エンティティ（機関が所有する 罰金や手数料、あるいは複数の図書館が対応可能なリクエストなど）については、当該機関からレターが送信されます。 • 延滞および紛失した貸出資料プロファイルが通知料金を生成するように設定されている場合、このプロファイルから異なる図書館向けに複数の通知が送信されると、通知ごとに手数料が課金されます。 <hr/> <p>フルフィルメント 図書館独立のためのパトロン通知も参照してください。</p>
short_loan_courtesy_reminder	<p>臨時通知を送信するための短い貸出期日までの時間（分単位）。値は1440分（24時間）未満でなければなりません。デフォルトでは空白です。これは、短期の貸出臨時通知が送信されないことを意味します。</p> <p>詳細については、「案内状」を参照してください。短期間でアイテムを貸出する際に利用者に送られる「短期貸出レター」も参照してください。</p>
short_loan_overdue_block	<p>真に設定すると、延滞のレターにより、ユーザーのアカウントに延滞ブロックが適用されます。デフォルトでは、このパラメータは偽に設定されています。</p> <p>詳細については、「短期貸出の設定」を参照してください。</p>
short_loan_overdue_	<p>延滞リマインダー通知を送信する短期貸出の期日後の時間（分単位）。値は1440分（24時間）未満でなければなりません。デフォルトでは空白です。これは、貸出の延滞通知が送信されないことを意味します。</p>

パラメータキー	説明
reminder	詳細については、 遅延・紛失貸出通知レター 参照してください。
shortened_due_date_notifications	<p>可能な値は、NONE、MESSAGE、EMAIL、MESSAGE_EMAIL（大文字）です。デフォルトは NONE で、通知は送信されません。</p> <p>MESSAGE または MESSAGE_EMAIL に設定すると、期日が短縮されたアイテムを貸出または更新するときに、[ユーザーサービスの管理] ページのスタッフに画面上のアラートが表示されます。可能なメッセージは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> アイテムがリコールされたため、期日が短縮されました ユーザーカードは期日前に期日切れになるため、期日が短縮されました 貸出が予約リクエストと競合するため、期日が短縮されました <p>セルフチェックマシンからアイテムを貸し出す場合、メッセージも表示されます。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>メッセージテキストは設定できません。</p> <hr/> <p>さらに、EMAIL または MESSAGE_EMAIL に設定すると、貸付または更新時に、期日の短縮に関する通知がユーザーに送信されます。更新時に、[ユーザーサービスの管理] ページからスタッフが更新した場合にのみ、レターがトリガーされます。Primo のユーザーが更新を行った場合、短縮された期日はすぐにユーザーに表示されます。短縮された期限レターは、EメールまたはSMSで送信できます。レターの情報については、Almaレターの設定を参照してください。</p>
should_anonymize_requests_immediately_when_complete	<p>真に設定すると、リクエストが完了すると依頼者IDがNULLに設定されるため、リクエスト履歴から依頼者IDが非表示になります。</p> <p>false に設定すると、リクエスト元 ID が表示されます。これがデフォルトです。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>このパラメータは、フルフィルメントリクエストにのみ適用されます。リソース共有リクエストはこの影響を受けず、リソース共有リクエストの匿名化ジョブによって匿名化されます（匿名化の設定を参照）。</p> <hr/> <p>このパラメータに関する重要な注意事項については、上記の匿名化の設定も参照してください。</p>
should_automatically_print_request_slip	<p>真に設定すると、設定されている自動印刷ルールに従って印刷スリップが自動的に生成されます。</p> <p>偽に設定すると、設定されている自動印刷ルールに関係なく、印刷スリップは自動的に生成されません。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>[スリップを印刷]を選択すると、リクエストスリップを手動で印刷できます。</p> <hr/> <p>これは機関レベルのパラメータであるため、すべての図書館のすべての貸出・返却受付のすべての自動印刷ルールに適用されます。</p>
should_report_active_requests	<p>この値は、フルフィルメントジョブの設定 ページのリクエスト・レポートの送信セクションで設定されます。真に設定すると、通知レポートにアクティブなリクエストセクションが表示されます。</p>

パラメータキー	説明
should_report_in_process_requests	この値は、 フルフィルメントジョブの設定 ページのリクエスト・レポートの送信セクションで設定されます。真に設定すると、通知レポートに[処理中のリクエスト]セクションが表示されます。
should_report_on_hold_shelf_requests	この値は、 フルフィルメントジョブの設定 ページのリクエスト・レポートの送信セクションで設定されます。真に設定すると、通知レポートに取り置き棚りポートリクエストセクションが表示されます。
SIP2_include_item_level_call_number	<p>SIP2は、スキャンした本のバーコードを読み取ります。Almaは、並べ替えプロセスの入力と返却のための宛先への入力となる番号を提供します。この番号はルールに基づいて計算され、計算にアイテムの請求番号を使用するように設定できます。</p> <p>アイテムの請求番号を使用する場合、この顧客パラメータはピンの並べ替えを制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> パラメータ値がFalseの場合、SIP2マシンは一時的な請求番号を返し、見つからない場合は、所蔵の請求番号を返します。 パラメータ値がTrueの場合、SIP2マシンは次の順序で請求番号を考慮します。 <ul style="list-style-type: none"> 一時的なアイテムレベルの請求番号が存在する場合、それを返します。 存在しない場合は、アイテムレベルの請求番号を返します。 存在しない場合は、所蔵レベルの請求番号を返します。
slnp_プレフィックス	一致するプレフィックス035フィールドにヴェルブンディッド SLNPPresentVerbundData メッセージのフィールド。
switch_to_overdue_and_lost_loan_new_job	<p>延滞または紛失したアイテムの通知を集約するオプションを有効にするには、trueに設定して、ユーザーが各通知タイプに対して1つの通知のみを受け取るようにします。</p> <p>延滞または紛失したアイテムごとに1つの通知を送信するには、偽に設定します。偽に設定すると、延滞のブロックはサポートされません。</p> <p>延滞および紛失したアイテムのレターの詳細については、[スケジュール済みジョブの表示]ページの貸出 - 延滞および紛失したアイテムを参照してください。</p>
temp_days_booking_resolution_fix	
uresolver_display_cz_records_first	オンラインリソースのリストの各レベルでコミュニティゾーンレコードを最初にリストするか。詳細については、 オンラインサービスのオーダーの設定 を参照してください。
uresolver_enable_getit_holding_configuration	<p>false に設定すると、Get It での所蔵フィールドの表示は、システム設定とラベルのカスタマイズによって決まります。</p> <p>true に設定すると、以下のページが有効になり、Get It の保有情報を設定することができるようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> アルマ・プリモ：保有物表示ラベルコード表と保有物表示カスタマイズマッピング表（設定メニュー>フルフィルメント>ディスカバリーインタフェース表示ロジック）を設定できます。 Primo VE：Primo カスタマイズホールディングマッピングテーブル、ホールディング表示ラベルと順序コードテーブル、Primo VE カスタマイズ検索用ホールディングマッピングテーブル（設定メニュー>発見>設定を取得）。 <p>また、このパラメータをtrue に設定すると、顧客パラメータdisplay_additional_holding_fields_in_getitとdisplay_</p>

パラメータキー	説明
	<p>alternative_call_number_in_getit は廃止となります。</p> <p>2018年5月リリースより前の既存の顧客の場合、このフィールドはデフォルトで偽に設定されています。2018年5月リリースから運用を開始する顧客の場合、デフォルトで真に設定されています。</p> <p>所蔵情報の設定の詳細については、追加の所蔵情報の表示を参照してください。</p> <p>Alma-Primoの所蔵情報の設定の詳細については、Primo VEで表示する追加の所蔵フィールドの設定を参照してください。</p>
<p>uresolver_ partial_ digitization_ default_value</p>	<hr/> <p>Note</p> <p>このパラメータはPrimoVE環境には適用されません。設定オプションについては、Primo VEのリクエストフォームの設定を参照してください。</p> <hr/> <p>trueに設定すると、デジタル化リクエストフォームで部分チェックボックスが初期化されます。</p> <p>falseに設定すると、デジタル化リクエストフォームで選択解除された部分チェックボックスが初期化されます。</p> <p>デジタル化リクエストフォームのカスタマイズの詳細については、Primoリクエストフォームのカスタマイズを参照してください。</p>
<p>uresolver_ Prefer_id_ based_linking_ services</p>	<p>優先ID ベースのリンクでUResolverの パッケージを並べ替えるには、trueに設定します。</p>
<p>uresolver_ remote_register</p>	<p>フルフィルメントネットワークでPrimo/VEディスカバリーを提供する場合、ユーザーが以下のように 他の機関の所蔵資料にアクセスできるようにすることができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動に設定すると、ユーザーのアカウントは自動的に他の機関と共有され、ユーザーは所蔵資料を閲覧したり、場所のリクエスト（許可されている場合）を送信したりできるようになります。これがデフォルトです。 なしに設定すると、ユーザーの アカウントは他の機関と共有されず、所蔵資料の閲覧のみにアクセスが制限されます。 マニュアルに設定すると、ユーザーは、登録するボタンをクリックして、アカウント情報を他の機関と共有できます。登録すると、ユーザーは 所蔵資料を閲覧し、リクエストを送信できます（許可されている場合）。 <p>詳細については、ローカルにリンクされたユーザーがいない他の機関からのリクエストを参照してください。</p>
<p>uresolver_use_ resources_with_ po_line_ ordering</p>	<p>発注明細を含むUResolverのリソースを最初に表示するかどうかを定義します。</p>
<p>uresolver_use_ source_to_ target_ordering</p>	<p>OpenURLのソースに一致するサービスに最高の優先順位を付けるか。詳細については、オンラインサービスのオーダーの設定を参照してください。</p>
<p>use_time_ format_with_ time_zone_in_</p>	<p>偽の場合、タイムゾーンはセルフチェック 応答メッセージの期日フィールドに含まれません。真（デフォルト）の場合、期日はsystem_time_formatパラメータに従ってフォーマットされます。system_time_formatパラメータの詳細については、その他の設定のマッピングテーブルを参照してください。</p>

パラメータキー	説明
self_check	
use_user_group_at_time_of_loan_for_loan_to_calculation	貸出期間の計算時に、貸出時点のユーザーグループを使用するか、現在のユーザーグループを使用するかを定義します。
罰金の免除	1回の「選択した免除」アクションに含めることができる罰金の最大数を設定します。